

みんなの千羽鶴と一緒に ニューヨークへ行ってきました！

2010.5.10 長野市立吉田小学校 米山美保



4月29日～5月5日まで、ニューヨークへ行ってきました。5月3日から国連で行われる NPT（核不拡散条約）再検討会議への要請行動のためです。

小学生の頃、原爆パネル展や「はだしのゲン」の映画をみて、「核兵器なんて、この世からなくしたい！」とずっと強く思っていました。歴史的な NPT 再検討会議に当たって、小さい頃からの願いを実現する為に自分も何か行動したいと思い、自分から代表団に応募しました。

昨年担任していた子ども達に「核兵器をなくすための会議にニューヨークへ行く」と話すと、「先生、ニューヨークへ折り鶴を持って行って！」と言ってくれました。そのことに励まされ、さらに行く気満々になりました。

ニューヨークへ着いた夜、眠い目をこすりながら、2日のパレードに備えて、日本から持って行ったステンレスの針金やブロンズ粘土を使って、小さなサダコ像を作りました。



三日間、ニューヨークで署名行動。

大胆にも(!) ニュー Yorker 相手に、片言の英語で、三日間署名行動をしました。

初日は、セントラルパーク。さまざまなパフォーマンスが行われる賑やかな街頭。片言の英語で、ドキドキしながら署名をお願いしました。日本から移住した人にも出会いました。断られることも多かったですが、それは、日本でも同じ事。でも、どういう署名かと聞かれ「No nuclear weapons! (核兵器をなくす)」と言うと、即署名してくれる人もいました。

広島やサダコを知らないと言う赤ちゃん連れの女性に、持っていったヒロシマやナガサキの資料を見せると、熱心に見て、「みなさんの行動に感謝します。」と10ドルもカンパしてくれました。

広島平和記念館や長崎原爆資料館で購入した資料は、日本語と英語の両方で書かれているので、その場で見て読んで核兵器の恐ろしさを知ってもらうことができ、持って行って良かったと思いました。

署名を断る人の言い分が、十分に理解できなくて、もっと英語を勉強したいとつくづく思いました。

署名行動から帰って、夜、二連ほどの折り鶴を糸から外して、一羽一羽に「Let's abolish nuclear weapons! (核兵器をなくしましょう!)」とメッセージを書きました。折り鶴は千羽より随分多いので、子ども達の平和を願う気持ちのこもった折り鶴を、署名してくれた人にプレゼントしようと考えたからです。

二日目はタイムズスクエア近くのブライアントパークで署名行動。持ち歩くのは大変ですが、道行く人にもアピールしようと、千羽鶴を両手でかかえて出かけました。

大成功でした。公園のフェンスに千羽鶴を飾っておくと、千羽鶴に目を引かれて、「Beautiful!」「Origami?」「Thousand paper cranes!」

などと話しかけてくれる人達がたくさんいました。子ども達が平和を願って折った鶴だと話し、署名を願いますと、多くの方が署名をしてくれました。署名してくれた人に「This is peace bird "Orizuru" by my student.」と折り鶴を一羽手渡すと、とても喜んでくれました。昨日とは手応えが違い、随分元気が出ました。

地下鉄の中で隣に座った人も、千羽鶴をきっかけに話が弾み、署名してくれました。

その夜、これも日本から持って行った 60cm の角材をつなぎ、千羽鶴を掲げてパレードするための道具を作りました。先端には29日に作製したサダコ像と薄緑色の厚紙で作った折り鶴を取り付けました。

三日目は、朝からパレードに参加する準備をして、前日と同じブライアントパークに出向きました。

サダコ像は、核兵器廃絶のシンボル。ニューヨークでもサダコを知っている人がかなりいることは嬉しく思いました。サダコと一緒に千羽鶴は昨日よりも更に道行く人の注目を浴びました。

午後は国連へのデモ行進だということもあって、たくさんのグループがあちこちで署名をされていて、「もうサインしました。」という人も多い中、61筆が集まりました。長野からの8人のメンバーも、段々度胸も着き、話すコツもわかってきて、それぞれの持ち味を活かして頑張りました。

アメリカで平和運動をするみなさんとも、街のあちこちで交流することができたのも嬉しいことでした。

「核兵器をなくそう」の思いを一つに一万人がパレード!!

午後は、日本からニューヨークへ行った1500人の代表団とニューヨークの平和を願う人達が力を合わせて、一万人のパレード=デモ行進を行いました。

パレード開始を待つ間に、千羽鶴を持っている私に「How much?」と声を掛ける人が3人もいました。売り物ではないと説明すると残念そうな顔をするので、50羽の連を一本はずしてレイにして、「present for you!」と首にかけてあげました。中には、どうしてもお金をという人もいて、平和を願って子ども達が作っ



た鶴だと説明し、平和のために使うと約束し5ドルを受け取りました。また、一緒に写真を撮らせてと何人にも頼まれました。

一万人の行進というのすごいです。その行列の長さに圧倒されました。パレードの出発点タイムズスクエア周辺で、前日に爆破未遂事件が起き、ニューヨークのニュースではそればかりが報じられる中、みなそれぞれに横断幕やグッズを持って平和への熱い思いを表現しました。1時半からの集会は、炎天下の路上で2時間を越え、パレードが出発するまでにクタクタになりました。でも出発すると、沿道の人達も興味を示し写真をとっていたり、声を掛けてくれたり、段々に元気が出てきました。

行進の終着点・国連の「ハート」広場には、吉田小学校の保護者や先生方にも協力していただいた「核のない世界を」求める署名690万1037筆が積み上げられ、カバクテラン NPT 会議議長やドゥアルテ国連上級代表の心を動かしました。

3日朝、期待してつけたテレビのニュースや、ホテル近くの新聞スタンドに並んだどの新聞にも、全くといって良いほど、前日の集会やデモ行進について報じられませんでした。トップニュースは一昨日の爆破未遂事件。平和を願う万人もの行動を無視するために、わざと爆破未遂事件を起こしたのではないかと疑う程でした。「metro new york」紙だけが、タイムズスクエアでの集会を5面に小さく載せていました。

午前は自由行動ということで、私は千羽鶴と一緒に日本から持っていった三冊の本（絵本「サダコと千羽鶴」「広島の記録」「長崎の記録」いずれも日本語と英語で書かれている。）と折り紙をニューヨークの学校の子供達にプレゼントするために、ニューヨークへ行くと思った動機や、学校の子供達が平和への願いを込めて折った折り鶴であることなどを手紙に書きました。（友人の協力で英訳できました。）



ピースコンサート・公開シンポジウム

3日午後は、キング牧師ゆかりのリバーサイドチャーチでピースコンサートが行われました。まずは教会の大きさと美しさに感動。日本からのうたごえ合唱団（うち指揮者を含む6名が長野の人です。）の合唱や橋本のぶよさんきたがわてつさん、アメリカの合唱団のうたごえを聞いた後、最後は「We shall overcome」を会場みんなで大合唱。1600人の参加者の平和への思いが一つになりました。

大人数の集会ができる場所があまりないという中、教会が快く場所を提供してくれたとこのことで、シンポジウムの冒頭にリバーサイドチャーチの代表アーノルド・トマスさんが挨拶しました。

シンポジウムへの外国からの参加は4人。エジプトの軍縮大使ヒシャム・バドルさんの、「核廃絶は願いや努力目標ではない。条約に裏付けられた法的な義務であり、核廃絶に向け交渉を開始しないことは法律違反である。」と訴えに、とても勇気づけられました。

「会場から何か質問はないか」と問われ、朝からずっとひっかかっていたアメリカのマスコミの取り上げ方について質問しました。アメリカフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーソンさんは、オバマ政権の誕生・イラクからの撤退、という流れの中で、核廃絶運動への関心も2005年（前回のNPT再検討会議の時）ほど強くない複雑な情勢を語ってくれました。「だからこそ、日本が黙ってしまったらお終いだ。」「核兵器廃絶が実現した時には、世界がみなさんに感謝するだろう。」とも言われました。「世論を作るのは教育だ。」という言葉にもハッとさせられました。コーディネーターの高草木さんは、「核廃絶は日本が世界に発信する運動です。私達の運動が核兵器国のそれを使いたいという欲望に確実に歯止めをかけている」と結びました。

私は自分がニューヨークへ来た思いを再確認しました。私は、核兵器の恐ろしさやそんなものは地球上に必要なと言ったことを一人でも多くの人に伝えたいと思ってやってきたのでした。世論の広がりやマスコミの取り上げ方がいま一つだというのは、まさに教育や運動を通じて、もっと世論を広げていかななくてはいけないのだと痛感しました。

4日に教職員交流会や学校訪問が企画されていましたが、私達の参加したAコースは4日にニューヨークを出発しなければならないので、それには参加できません。そこで、訪問先の学校に、吉田の子供達の千羽鶴や日本から持っていった本と折り紙を渡し、平和教育に活用してもらえよう、手紙と一緒に他のグループに所属する教職員に託してきました。

ニューヨークにいる間、署名行動で、パレードで、子供達の千羽鶴にとっても助けられました。子供達に感謝です。

日本で「サダコを知っていますか？」と聞いたらどれだけの方が「はい。」と言えるでしょうか。日本へ帰ってこれまで以上に平和教育・平和運動を進めていこうという思いを新たに、リバーサイドチャーチを後にしました。

（余談）メトロポリタン美術館のビックリ！

ニューヨークで、観光できる時間は少なかったのですが、どうしても行きたいと思っていたメトロポリタン美術館では、30日の夕方から午後9時の閉館まで、たっぷり時間をすごしました。

美術館の中にはいくつものエリアがあるのですが、その一つ一つが日本の美術館一つ分に相当し、じっくり見ようと思ったら一日かけても時間が足りないぐらいの広さです。写真撮影自由というのもビックリでした。

★ニューヨークでの活動や、少しばかりの観光の様子を Web アルバムで公開しています。

よろしかったら、ご覧下さい。 <http://picasaweb.google.co.jp/100576437771924600860/oecgIE>



